



令和元年 5 月 28 日  
佐賀大学理工学部

## 佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施

### 【概要】

不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて理工学部の教員と循環物質化学専攻大学院生らが本年度最初の理科実験教室を実施しました。

### 【本文】

理科実験教室支援活動は、佐賀市教育委員会の不登校支援機関で休日夜間こども診療所跡にある適応指導教室「くすの実」の要請により、理科への興味をきっかけに子供達の就学意欲を惹起することを目的に行なっています。大学が支援する不登校支援機関での理科実験教室は全国でも数少ない活動として、平成 17 年に当時の工学系研究科 児玉 浩明 教授（現佐賀大学理事）が始めてから現在まで継続しており、今年で 15 年目にあたります。

本年度はじめての理科実験教室は、令和元年 5 月 17 日(金)に循環物質化学専攻とシステム創成科学専攻の大学院生が理工学部化学部門 長田 聡史 准教授とともに「動く!?光る!? 不思議なスライムを作ろう!」と題して実験を行いました。

まず最初に自己紹介を行った後に実験を開始しました。できたスライムに試薬をいれりと溶けたり、また固まったりする様子を生徒たちは興味深げに眺めていました。光るスライムは大人気で、職員さんも含め、皆で暗い部屋に入って歓声をあげていました。



生徒がつくったスライム作品